

令和6年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>1 「キャリア教育」の視点「シチズンシップ教育」の視点を踏まえて、教科等横断的な授業を定着させる。</p> <p>2 ICTの利活用を推進する。</p>	<p>1-① 各教科等の3年間の内容表を完成させる。</p> <p>1-② 教科等横断的な授業の試行を行う。</p> <p>2 一人一台端末の管理マニュアルを作成する。</p>	<p>1-① 教科会や学年会の中で学習指導要領に沿って具体的な内容を作成する。</p> <p>1-② 校外での学習等において教科等横断的な授業を試行する。</p> <p>2 他校や教育委員会と情報を共有しながら管理方法のたたき台をつくり、精査する。</p>	<p>1-① 3年間で学習指導要領の内容が達成できる内容表を完成させることができたか。</p> <p>1-② 教科等横断的な授業の試行ができたか。</p> <p>2 一人一台端末の管理マニュアルを作成できたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒 指導・支援	<p>1 生徒個々の長所、強みに着目する視点を重視して、実態を把握し、ニーズに応じた指導、支援を行う。</p> <p>2 生命(いのち)の安全教育を推進し、生徒が安心して学べる環境をつくる。</p> <p>3 生徒自らの安全確保につながる意識を育てる。</p>	<p>1 生徒の実態を見立てる力をつけるためのアセスメント活用の仕組みをつくる。</p> <p>2 自分自身を大事にするための意識を育てる。</p> <p>3 災害時等に身の安全を考えて行動する意識を育てる。</p>	<p>1 校内のアセスメントの結果を指導、支援に活かすためのフローチャートを作成する。</p> <p>2 携帯電話教室、サイバー犯罪教室、いのちの授業や性教育等の授業を設定し、内容を整理する。また、教員の人権意識を高めるための研修を設定する。</p> <p>3 防災教育や防犯教育の中で、自らの安全について自分事として考える場面を設定する。</p>	<p>1 フローチャートを作成することができたか。</p> <p>2 授業や振り返りの中で自分を大事にする気持ちをもてたことを発言やアンケートで確認することができたか。また、研修を実施して振り返ることができたか。</p> <p>3 生徒が自らの安全について振り返ることができたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>1 将来の充実した生活を目指して、生徒個々の発達段階に応じた進路指導、支援を行い、希望する進路の実現と定着支援を図る。</p>	<p>1 生徒の実態に応じた系統性のある指導内容表を作成する。</p>	<p>1 職業の授業の活動内容と実施時期の洗い出しを行う。また、教科会を活用し、進路担当等の様々な視点をもって「就労準備性ピラミッド」を基に進路学習内容一覧主な実施学年の見直しを行う。</p>	<p>1 活動内容や実施時期の洗い出しを行い、系統性のある指導内容表を作成することができたか。</p>

4	地域等との協働	<p>1 学校と地域が連携・協働して、共生社会の実現に向けた活動を行う。</p> <p>2 支援教育の充実を目指し、センター的機能を発揮する。</p> <p>3 ホームページを活用した情報発信を充実させる。</p>	<p>1-① 生徒が地域の中で活躍できる学習活動を行う。</p> <p>1-② 地域と一緒に防災教育に係る活動を行う。</p> <p>2 改めて、校内支援体制の充実を目指し、相談できる環境づくりを進める。</p> <p>3 ニーズに合った内容を掲載し、情報発信の手段としてのホームページの活用を推進する。</p>	<p>1-① YOKOHAMA SEYA ガパオ祭りの参加や他校との交流の中で、生徒が主体的に取り組める仕掛けや地域の方と関わる場面設定をする。</p> <p>1-② 防災教育(避難所体験)で地域の方と協力をして、一緒に活動する場面を設定する。</p> <p>2 「相談の手引き」の素案づくりと「人材バンク」や校内資源の活用の呼びかけ等を行う。</p> <p>3 掲載記事の更新回数を増やして常に新しい内容が掲載されるようにする。また、保護者向けのニーズ調査をして保護者が知りたい情報を掲載できるようにする。</p>	<p>1-① YOKOHAMA SEYA ガパオ祭りの参加や他校との交流で生徒が活躍できる活動を展開し、生徒が事後学習で振り返ることができるか。</p> <p>1-② 避難所体験を通して、地域の方と一緒に活動ができたか。</p> <p>2 「相談の手引き」の素案を作成することができたか。また、相談の流れの見える化や呼びかけにより相談できる環境をつくることができたか。</p> <p>3 更新回数を増やして、新しい情報を発信できたか。また、ニーズ調査で必要とされる情報を確認し、ホームページに活かすことができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>1 教職員の専門性や人権意識、服務規範意識の向上を図る。</p> <p>2 教職員の健康管理を徹底する。</p> <p>3 業務の効率化や職場環境の整備と促進を図る。</p>	<p>1 人権研修や不祥事防止研修をとおして、人権や不祥事に関する意識を深める。</p> <p>2 月45時間以上の時間外勤務者を把握し、その人数を減らす。</p> <p>3 現状の業務内容の把握や課題の洗い出しと改善策を見出してできることから実施する。</p>	<p>1 研修の講師や内容、方法を吟味して計画立案をする。協議するグループを工夫して研修を行う。</p> <p>2 勤務時間管理システムにて時間外勤務者の把握と管理職や産業医による面接を徹底する。</p> <p>3 職員から意見を聴取して、課題を整理するとともに、改善策の提案をして実行に結びつける。ICT機器を活用して会議を短くするくふうをする。</p>	<p>1 研修後にアンケートを取り、振り返ることができたか。また、研修方法を工夫できたか。</p> <p>2 管理職や産業医の面接を実施したり、業務の効率化を取り入れたりする等して、人数を減らすことができたか。</p> <p>3 職員から意見を聴取して課題を整理することができたか。ICT機器を活用して会議の時間を短くすることができたか。</p>